

復職支援研修における標準プログラム

東京都看護職員地域確保支援事業

コース		看護師	
		3日	5日
プログラム		講義、院内見学、技術演習、外来・病棟見学実習	
1 日 目	AM	自己紹介・オリエンテーション・復職支援研修及びナースバンク登録に関する説明 病院概要紹介・見学	
	PM	講義(最近の医療・看護の動向、医療安全) 感染管理の講義・実技	
2 日 目	AM	研修内容<事例を設定し指示に基づく実施> 1 採血・静脈注射・点滴留置 2 輸液ポンプの取り扱いなど 等講義と演習 (1) 薬剤処方箋・指示の確認 (1) ポンプ専用ルートの種類とセッティング (2) 必要物品の準備 (2) 禁忌(フリーフロー等)事項など操作方法 (3) 患者確認 (3) 廃棄物処理 (4) 刺入部位の確認 3 急変時の対応 (5) 駆血帯の扱い、刺入角度 (1) 講義 (2) 救急カート	
	PM	外来・病棟見学実習 1 病棟オリエンテーション (1) 病棟概要(特徴、構造等) (2) スタッフ紹介 (3) 患者紹介(疾患・治療・看護内容等) (4) 主に使用する薬剤(点滴・内服薬)と注意事項	指導体制・方法 1 研修生4名に対し1名の指導者を配置 2 準備 (1) 腕モデル(静脈・採血、筋注用等) (2) 椅子、注射台及び長テーブル (3) 輸液ポンプ・延長コード (4) 車椅子、ストレッチャー、安楽枕 (5) 上半身モデル・研修用AED (6) その他、それぞれの技術項目に必要な物品を準備 3 デモンストレーション グループ毎もしくは全体で準備から終了まで 4 自己練習 繰り返し練習する時間を設ける。 質問を受ける、実践指導等 5 講義やDVD視聴
3 日 目	AM	外来・病棟見学実習 1 援助の実際 (1) 環境整備・リネン交換 (2) VS測定、体位変換、移乗・移送 (3) 清潔援助(清拭、口腔ケア、足浴等) (4) 食事の援助、排泄の介助 2 カンファレンス参加 ※カンファレンス後も時間があれば実習 指導体制・方法 1 看護師長もしくは研修担当者がオリエンテーションを実施 2 指導看護師と共に援助を行う 3 侵襲を伴う処置・検査は見学とする	
	PM	交流会・就業相談・アンケート記入	
4 日 目	AM		外来・病棟見学実習 1 援助の実際 (1) 環境整備・リネン交換 (2) VS測定、体位変換、移乗・移送 (3) 清潔援助(清拭、口腔ケア、足浴等) (4) 食事の援助、排泄の介助 2 カンファレンス参加 ※カンファレンス後も時間があれば実習 指導体制・方法 1 看護課長もしくは研修担当者がオリエンテーションを実施 2 指導看護師と共に援助を行う
	PM		
5 日 目	AM		病棟見学実習(午後実施可)
	PM		交流会(研修生人数によって開始時間は変更)、アンケート記入、就業相談

※原則として毎日、研修終了前に1日の振り返りを行う。

コース		1日随時(看護師)
プログラム		講義・院内見学等
1 日 目	AM	自己紹介・オリエンテーション・復職支援研修及びナースバンク登録に関する説明 講義(最近の医療・看護の動向、医療安全)
	PM	講義(感染管理)、外来・病棟見学、看護体験 ※終了後アンケート記入